

# 兵庫・沖縄冬期友愛キャンプ参加者募集

沖縄の青年とともに兵庫の歴史に触れ、自然と戯れ、さらにふるさと  
兵庫を愛する青年を育てます。 ～冬の兵庫で3泊4日の感動の交流～

**期間:2019年2月14日(木)~2月17日(日)**

【事前研修 1/20(日)、2/3(日) 事後研修 2/24(日)も参加必要】

**料金:20,000円** ※ 旅行代金は参加決定後、全額下記旅行社へ支払っていただきます。

**行くところ:姫路城、兎和野高原野外教育センター、城崎温泉、野島断層、  
人と防災未来センター、神戸市内 等**

(宿泊:兎和野高原野外活動センター、ホテル北野プラザ六甲荘)

**申込期限:2019年1月7日(月)**

**募集定員:15名**

(応募者多数の場合は書類選考/夏期参加者優先)

**参加対象:兵庫県内在住、在勤、在学の18歳~40歳の方**

**申込方法:裏面参加申込書に必要事項を記入のうえ、株式会社 H.I.S.  
関西法人団体営業グループまで郵送又は FAX して下さい。  
(詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、  
事前にご確認のうえ、お申し込みください。)**



**研修企画 兵庫県、(公財)兵庫県青少年本部  
沖縄県、友愛交流構築事業実行委員会**

**旅行企画・実施 株式会社 H.I.S.関西法人団体営業グループ**

※この事業は(一財)敬愛まちづくり財団のご支援を  
いただいております。

## 【研修に関する問い合わせ】

公益財団法人 兵庫県青少年本部

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3

兵庫県民会館8階

TEL : 078-891-7410, FAX : 078-891-7418

<http://www.seishonen.or.jp/business/category/jinzai/>

## 【旅行に関する問い合わせ・申込先】

株式会社 H.I.S.関西法人団体営業グループ

公務・スポーツ事業営業所(観光庁長官登録旅行業第724号)

〒530-8215 大阪市北区梅田 3-4-5 毎日ビル14F

TEL : 06-6133-0301, FAX : 06-6345-0191



沖縄の青年とともに、雪上研修・防災学習・兵庫の歴史・文化学習等を行う交流体験です。パッキングツアーや個人旅行では味わえない体験と新たな交友があなたを待っています。

【日程】 事前研修会 1月20日(日)・2月3日(日) 事後研修会 2月24日(日)

月 日	プログラム	宿 泊	旅行代金に含まれる食事		
2月14日(木)	●沖縄青年との出会い(空港出迎え・セレモニー)	兵庫県立 兔和野高原 野外教育 センター	—	昼	夕
2月15日(金)	●雪の体験(雪上ハイク) ●地域の自然を学ぶ(玄武洞) ●文化学習(城崎温泉 等)		朝	昼	夕
2月16日(土)	●防災学習(野島断層、人と防災未来センター) ●交流会(兔和野高原野外活動センター、六甲荘)	ホテル北野ブ ラザ六甲荘	朝	昼	夕
2月17日(日)	●思い出を深めよう(班別活動:神戸市内等視察、空港見送り)	—	朝	—	—

(プログラムは都合により変更する場合があります)

〈集合〉兵庫県民会館 〈解散〉神戸空港 〈移動手段〉貸切バス移動(但し、班別活動は公共交通機関利用)  
 ※2月17日「班別活動」の交通費、施設入場料、飲食費等の一切の費用は、参加者のご負担になります。  
 ※添乗員は同行しませんが、公益財団法人兵庫県青少年本部スタッフが同行します。

## 第46回 兵庫・沖縄冬期友愛キャンプ 参加申込書



株式会社H.I.S. 関西法人団体営業グループ 御中

友愛キャンプ実施に必要な範囲内での兵庫県、(公財)兵庫県青少年本部、沖縄県、宿泊・運送機関、保険会社等への個人情報の提供について同意のうえ、本キャンプに申し込みます。

フリガナ		性 別	男 ・ 女
氏 名		生年月日	年 月 日生 (満 歳)
住 所	〒 —		
電話番号 e-mail	自宅( ) — 携帯( ) — e-mail(携帯): e-mail(PC):		
勤務先・学校名			
活動歴 (過去に参加した青少年 本部事業を含む)	〔過去の友愛キャンプへの参加実績、サークル活動、青少年活動、ボランティア活動等の経歴、役割等を記入〕		
アレルギーの有無	有 (具体的に ) ・ 無		
友愛キャンプを 知ったきっかけ (該当するものに○)	・ チラシ ・ FACEBOOK ・ 新聞 ( ) ・ HP ・ 市町広報誌 ・ 知人から ・ その他 ( )		



※事前研修会・事後研修会に必ず参加できる方に限ります。  
 ※当事業は沖縄との友愛の絆を深めるとともに、郷土の発展に寄与するリーダーの養成を目的としています。